

<p>輸送容器の内部温度が管理温度に到達する時間を予測する輸送温度監視システム</p>	
<p>概要</p> <p>・ 品質</p> <p>・ 性能</p>	<p>輸送中の保冷ボックスの内部温度が管理温度に到達する時間を予測し、逸脱する前に必要なタイミングで保全作業が可能な輸送温度監視装置とシステム。評価データやシミュレーションデータなどの事前に用意する情報が無くともニュートンの冷却法則を変形した演算手法で保冷ボックス内部の時間的な温度変化が予測できる。このため保冷ボックスで輸送する薬品などの内部温度が逸脱する時間が予測可能となる。</p> <p>輸送温度監視装置は輸送容器内部の温度を測定する内部センサーと内部温度取得部、外部温度を測定する外部温度センサーと外部温度取得部、制御部、記憶部、通信部、表示部から構成される。制御部は内部温度と外部温度から管理温度部を逸脱する時刻を演算する演算処理部を備える。</p> <p>輸送中の保冷ボックス内部の任意の場所での温度が設定した管理温度を逸脱する時刻を予測して事前に通知できるため、確実な温度管理が実現できる。また、通信機能や表示機能を用いて知らせることで注意喚起することにより厳密な温度管理が求められる医薬品などの保冷ボックスによる輸送に加え、食料品、化学製品の輸送など、幅広い分野で活用でき、輸送によって発生する廃棄物の削減や再輸送などのコスト削減にも貢献する。</p>
<p>用途</p>	 <p>① 医薬品に加え、食料品や化学製品の輸送</p> <p>② 電波利用に規制のある医療機関での輸送</p>
<p>実用化情報</p>	<p>技術移転</p> <p>① 形態 特許実施権供与、共同研究開発、応用開発委託</p> <p>② 相手先 問わない</p> <p>③ 地域 国内に限る</p>
<p>特許等</p>	<p>特許番号：特許第7508160号</p> <p>登録日：令和6年6月21日</p> <p>特許権者：アイオーテック合同会社</p> <p>発明者：會沢 幸雄</p> <p>名称：輸送温度監視装置及び輸送温度監視システム</p>